



天ぷら油火災の対処法を学ぶ 八日市自治会・町並保存会防災訓練

八日市自治会(岡田文淑^{ふみよし}会長)と八日市護国町並保存会(丸山昇^{のぼる}会長)は1月30日、合同で防災訓練を行いました。消防内子支署の職員が天ぷら油火災の対処法を指導し、野菜やマヨネーズを使った消火法を試した上で、「一番確実なのは、消火器やぬれたシーツなど。落ち着いて行動することが大切」と繰り返し訴えていました。

◀実際に消火を体験。勢いよく吹き出す消火剤の煙に驚きの声も



観光を産業化し、町に雇用を 地域づくり講演会

グリーンツーリズムや子どもたちの田舎暮らし体験などに取り組む内子わくわく体験協議会(高本師津雄^{しづお}会長)は2月3日、内子自治センターで地域づくり講演会を開きました。五島列島の小値賀^{おぢか}町に移住し、小値賀らしさを生かした観光まちづくりで若者の雇用創出を目指す高砂樹史^{たかし}さんに、取り組みの経緯や秘訣などを学びました。

◀NPO法人おぢかアイランドツーリズム協会理事を務める高砂さん



つきたての餅で今年も元気に 内子ライオンズクラブ奉仕活動

内子ライオンズクラブ(武智浩^{ひろし}会長)は2月10日、特別養護老人ホームみどり苑で餅つきを行いました。同クラブは高齢者の皆さんにいつまでも元気でいてほしいと、毎年この活動を実施。内子婦人会も協力しています。同施設の皆さんは「やわらかくて、とてもおいしい」と、つきたての餅をうれしそうに味わっていました。

◀「昔を思い出す」と、餅つきの様子を眺める皆さん



後輩に大学での経験を伝えたい 小田地区出身の室岡康平^{こうへい}さんが講演

自治体推薦で法政大学(東京都)に進学した室岡康平さんは2月12日、小田地区の高校生らに呼びかけ、文化交流センタースバルで講演会を開きました。「外」に出て気付いたふるさとの良さや大学でのさまざまな経験を紹介し、「出会いによるつながりを大切にする事でチャンスが生まれる。ぜひ挑戦して」と呼びかけました。

◀ワークショップでは、みんなで小田の良さを書き出して発表

伝統技術を次世代へ 内子住まいの講座「土壁の魅力」

八日市・護国町並保存センターは1月23日、伝統的建造物に関する知識や修理・保存に携わる職人の技術などへの理解をより深めてもらうことを目的に、内子自治センターで内子住まいの講座を開きました。県内外から約100人が参加しました。

第1回のテーマは「土壁の魅力」。国選定保存技術「左官(古式京壁)」保持者で、全国文化財壁技術保存会の会長を務める佐藤治男^{はるお}さんが講演し、「先人たちは各地域に最も適した工法を残してきた。それを自分たちの時代で変えてはいけません。文化財を守るためにも、人材を育て、技術を次世代へつないでほしい」と訴えました。

続く実技研修では、佐藤ひろゆきさんが昔と同じ道具や材料を使って昔のままに再現することの重要性を語り、修理・保存を行う上での注意点などを説明しました。



④実技研修は、治男さんのおいの佐藤ひろゆきさんが担当し、左官の伝統技術を実演しました ⑤左官技術保存の第一人者・佐藤治男さん



五・七・五に新春を歌う 第34回内子町新春俳句大会

内子町文化協会(源田幸生^{ゆきお}会長)は1月16日、内子町共生館で新春俳句大会を開きました。町内外から45人が参加しました。町内の入選者は次のとおりです。

愛媛新聞社賞 穴田 柳子さん	雪ごと包む母おて寒泳児
ケーブルネットワーク西瀬戸賞 丸山 幸恵さん	初せりの袖商ひや魚市場
久保興業レインボー賞 森本 節子さん	ふるさとに知るべし枇杷の花
昭和刷子賞 木村 公子さん	父の臭ひかすかに残る冬帽子
せきれい賞 木村千寿子さん	紅を引く病後の母の初鏡
せきれい賞 宮部富佐子さん	吹く風のつつん痛し寒の梅



④わずか17文字の言葉にそれぞれの思いを込める ⑤ズラリと並んだ審査員の皆さん



雪景色の小田深山を歩こう せんの森「冬のツアー」

小田深山の豊かな自然を体験してもらおうと1月29日、せんの森「冬のツアー」が行われました。この冬は小田深山にも例年にない大雪が積もり、参加者は新雪に足跡をつけたり、巨大なつららに触れたりしながら、「まるで雪国」「こんなに冬を感じられる場所が町内にあることがうれしい」と感動した様子で話していました。

五色河原では、一面の雪景色を眺めながらティータイム▶

